

## 平成31年度 第1回 岡山市環境政策審議会概要

1 日時 平成31年4月19日（金曜日） 午前10時～午前11時20分

2 場所 岡山市議会棟第1会議室

### 3 出席者

委員：中村委員、岸本委員、二宮委員、藤原委員、池田委員、大久保委員、川口委員

岡山市：環境局長、環境局次長ほか関係職員

事務局：環境企画総務課

4 傍聴者 なし

### 5 主な意見

岡山市の改定案 180円/10kg を了承する。

ただし、事業系ごみ手数料は定期的に改定を行ない、本来あるべき事業者負担率100%を目指すこと。

また、事業系ごみの減量化及び再資源化促進のため、今回の改定を含め継続して努力していくこと。

※その他の意見については以下のとおり（●は委員、○は当局を示す）

●急激に金額を上げると、他市町村と比べ事業者がいなくなる可能性がある。なぜ毎年実状に合わせて改定しなかったのか。

○ごみ処理に係る経費はごみの量によって増減する性質がある。また、ごみ処理施設の修繕や改修によって短期的に増減する。その為、全国的にみると4年～5年の間隔で長期的に改定していくのが望ましいといわれている。岡山市では平成16年度から130円/10kgとしてきた。約15年間、ごみ処理経費は50億円～60億円の間に増減している。そのため、改定するタイミングが計りづらかった。

●毎年は難しいが、少なくとも4年毎には平均を取って見直すことを指定していった方が市民の税金で余計な負担が少なくて済むのでこの設定は妥当だと思う。

○平成37年度に広域ごみ処理施設の稼働を目指している。そこで改めて事業系ごみ処理手数料の見直しを考えている。併せて、岡山市としても経費の節減等をして努力していく必要がある。

●もう少し上げてもいいのでは。なぜ、70%ぐらいなのか。

○70%という値は各自自治体の考え方次第であり明文化されたものはない。前回改定時と同水準の負担を求めるといことで70%と設定した。これにより、他市町村との均衡を図ることもできると考えている。

●料金改定とごみ量を減らすことはリンクさせるべき。事業者に対し、今回改定した意図をしっかりと伝える。ごみ減量化を意識してもらうということはいれてほしい。

事業系ごみを減らしていくことの必要性、メリットも大きい。また、今回の金額改定も事業者を受け入れられない金額ではない。5年後に本来事業者が払うべきことは事業者が担う方向に持っていきたい。少しずつ5年間で調整して、事業系ごみ手数料は事業者だけで払い、市民が補わなくていいようにするべきである。現状は市民が負担しているので、それは変えていかななくてはいけない。理屈が通っていれば事業者は受けてくれる。あるべき姿を目指していく。何%、他と比べてどうというやり方はどこかで無理がでてくる。5年後にあるべき姿に持っていく方向で料金改定を進めてもらいたい。

●事業系ごみ処理に係る経費に市民の税金を充てている、本来は事業者が100%負担すべきというのを広報等で言っていたら、繰り返しいろんなところで言っていないといけない。

次回4、5年後に改めて改定があるのであればそれまでに浸透させる必要がある。せつかくの改定の機会なのでやり続けた方がいいと思う。

●70%負担であれば現状130円/10kgから50円上がる。最初上げすぎかなという意見もあるかと思っただが、もっときちっと負担させた方がいいという意見であった。市にとってはどちらかというフォローの話が多かった。100%にするのに190円/10kgにした方がいいという話もでしたが、今回は市の案と委員の皆さんが言われた付帯事項、これに伴って改定する時期をきちっと決める、事業系のごみの排出量を減らすように努力する仕組みも考えていく。そういったことも含めて180円/10kgに持っていく。

それで、委員のみなさんがよければこれで180円/10kgということで委員会が了承したということになる。もう少し議論すべきことがあればもう少し時間を取る、または実質第3回をすることになります。付帯事項は市に伝わったと思うので、あとは、料金の話です。

●お金の話は非常に難しい。事業者がこれをどのように理解するか、受け入れるか。お金の話をここで議論するのが難しいのかなと思う。私が思うのはこういうのはメッセージとしての意味が大事なのかと。50円上げるのは70%で、これを100%に近づけるべきだというのがあって、いずれは100%にしていく。50円の値上げを、この機会に分別をしっかりとごみを減らしてくださいね、という市からのメッセージであるとすれば、我々はこの50円を同意できる。これを40円がいいのか60円がいいのか…と議論するのはこの環境政策審議会の中では難しい。

●180円/10kgを我々が決めるのではなく、ごみの減量化や再資源化を念頭に置いて、市の案をサポートするというか、了承する形である。

もう一つは、市民の負担というのも考えて、料金自体は100%負担ではなく低めに抑えて、市民の負担を減らす意味でも定期的に改定はする。将来的には事業系ごみの量が減ってリサイクルにつながるというのを必ず入れていただいて、180円/10kgを受け入れるという形とする。